

# HLT ニュース May 2018

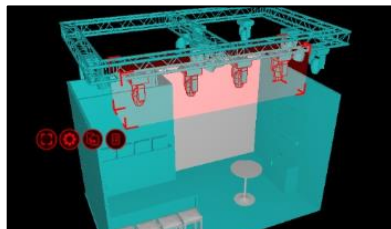
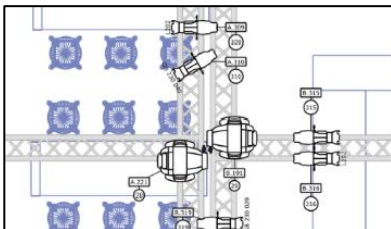
HLT ニュース事務局の堀野です。ドイツ・フランクフルトで行われた Prolight & Sound2018 にて各メーカーから新製品の発表/展示があり大変盛り上がったそうです。今回は Prolight & Sound 2018 でも展示がありました「Capture」の最新版を少しご紹介します。

## ■新製品情報：Capture 2018

弊社で取り扱っていますシミュレーションソフト Capture が新しくなりました。その名も「Capture 2018」です。

Capture とは照明デザイン・視覚化・ドキュメンテーションに優れたシミュレーションソフトです。現場での灯体の仕込みを Capture で再現することで、どのような明かりになるかを事前にシミュレーションする事ができます。

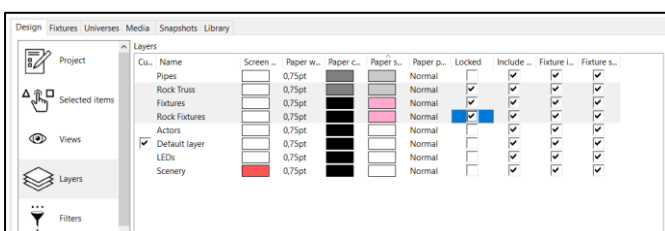
ステージ上にトラスやバトンなどのオブジェクトを設置し、灯体を仕込み、あとは照明卓につなげば、実際のステージやセットを想定しながらの打ち込みができます。



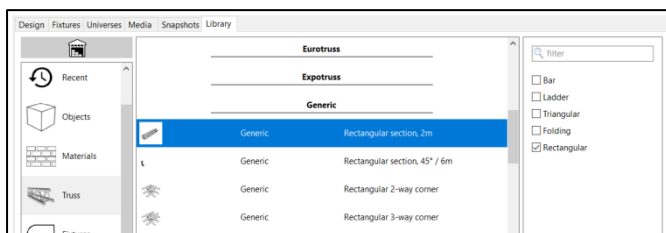
今回のリニューアルで Capture 全体的に変わりました。より使いやすくなったユーザーインターフェイス、レンダリングエンジンの変更、ファイルインポート/エクスポート機能強化等です。

UI 部分の変更は 2005 年に登場して以来初になるそうです。例えば、【デザインタブ】がより簡単で使いやすくなりました。今までよりも大きめのカテゴリの選択肢が左側にあるため、作業したいプロジェクトコンテンツまで簡単にドリルダウンできます。

### デザインタブ



## ライブラリタブ



【ライブラリタブ】では、探しているアイテムを簡単に見つけることができます。高速に読み込み、ほぼすべてのライブラリコンテンツのプレビューを提供し、最近使用した

アイテムも表示されます。以前のようにグローバル検索ではなく、フィルタ機能は選択されたカテゴリでのみ動作するので、スムーズな検索が可能となりました。

また今回の最新版から3Dグラフィックスを描画するエンジンが変わります。

現在のOpenGLに基づいたレンダリングを段階的に廃止し、DirectXとMetalに基づくレンダリングエンジンに変更する事でパフォーマンスと安定性が向上します。

その他、DWGファイル、SketchUpファイル、NDI v3のインポート、DXFファイルとDWGファイルのエクスポート機能が強化されました。

新しくなった「Capture 2018」を試したい方は下記からデモ版をダウンロードできます。

<http://www.capturesweden.com/Download/Standard>

## ■2018 業務用音響・映像・照明機器展示会に出展しました

4月18日、19日に鹿児島県民交流センターにて開催されました「2018 業務用音響・映像・照明機器展示会」に出展しました。



今回の展示機材はAVOLITES はコンパクトで持ち運びが簡単なQuartz を展示しました。AYRTON ムービングライトはヨーロッパ/アメリカのクルーズシップ、テレビ局、劇場などで多くの受注があるスポットタイプの Ghibli。昨年登場したばかりの Merak、MiniPane-FX の2機種に加え、MagicDot-SX、MagicBlade-FX といった製品を展示しました。

その他、RVE フォロースポット CHASE LED350、CHECKERS を2種類(FF5X125、GG5X125) 展示しました。

ブースへのご来場ありがとうございました。今回ブースで展示しました機材のデモ機もございますのでお気軽にお問合せください。

ヒビノライティング株式会社  
〒108-0022 東京都港区海岸 3-3-8  
TEL:03-6722-0500 FAX:03-3455-6801  
お問合せ先: hlt\_info@hibino.co.jp

**HIBINO**